

分野		補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築				
市町村名	長野市	ふりがな箇所名	かわくちたのぐちしのいせん (一)川口田野口篠ノ井線			にあわせ日合	事業年度 (完了年度は見込み)	H25	年度～	H29	年度
事業概要	区分	事業内容				事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	全体	道路拡幅工 L=500m W=4.0(6.0)m				150,000	国庫	その他	県債	一般財源	
	H25年度	測量設計 1式				3,000			2,700	300	
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価				ランク	評点		
	必要性 (30)	計画交通量	<input type="checkbox"/>	4,000台/日以上	<input type="checkbox"/>	1,500台以上～10,000台/日未満	<input checked="" type="checkbox"/>	1,500台未満	B	0	
		代替道路	<input checked="" type="checkbox"/>	唯一の道路である	<input type="checkbox"/>	代替となる道路がある				5	
		ネットワーク (道路網)	<input type="checkbox"/>	バス路線である	<input checked="" type="checkbox"/>	B 駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	<input type="checkbox"/>	A及びBに該当しない		3	
			<input checked="" type="checkbox"/>	ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/>	ボトルネック箇所でない				4	
			<input type="checkbox"/>	観光地に通じる道路	<input checked="" type="checkbox"/>	観光地に通じる道路ではない				0	
		各事業特有の必要性(安全の確保)	<input checked="" type="checkbox"/>	4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/>	4.0m以上5.5m未満(幅員)	<input type="checkbox"/>	5.5m以上(幅員)		6	
			<input type="checkbox"/>	自動車と自転車・歩行者との分離を図る	<input type="checkbox"/>	歩道はあるが不十分であるものを再整備	<input checked="" type="checkbox"/>	自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない		0	
	他事業との関連	<input type="checkbox"/>	河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施					0			
	小計								18		
	重要性 (10)	設計上の環境・景観配慮	<input type="checkbox"/>	環境・景観配慮がされ確実性が高い	<input checked="" type="checkbox"/>	環境・景観配慮がされているが確実性が低い	<input type="checkbox"/>	環境・景観配慮をしていない	B	3	
		地域の法的な位置付け	<input type="checkbox"/>	緊急輸送路(1次)に位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/>	緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光整備実施計画認定地域に位置付けられている	<input type="checkbox"/>	特別な位置づけはない		3	
		小計									6
	効率性 (20)	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が得られる)	<input type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0未満	A	5	
		事業効果の早期発現(H25以降残事業年数)	<input type="checkbox"/>	事業年数 3年以内	<input checked="" type="checkbox"/>	事業年数 4年～5年以内	<input type="checkbox"/>	事業年数 6年以上		5	
コスト縮減		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/>	部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/>	コスト縮減はしていない	7			
小計								17			
緊急性 (20)	安全性の向上	<input checked="" type="checkbox"/>	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	<input type="checkbox"/>	交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	<input type="checkbox"/>	交通事故や落石等の危険がない	A	10		
	各事業特有の緊急性(医療・福祉)	<input type="checkbox"/>	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	<input checked="" type="checkbox"/>	医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	<input type="checkbox"/>	医療・福祉の連携に関係ない道路		6		
	小計									16	
計画 熟度 (20)	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/>	地域住民の内発的な要望が強い	<input type="checkbox"/>	市町村からの要望	<input type="checkbox"/>	特に要望がない	B	7		
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/>	関係者以外に広く周知	<input type="checkbox"/>	関係者中心に周知	<input checked="" type="checkbox"/>	特に周知していない		0		
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/>	住民が計画策定に直接参加	<input checked="" type="checkbox"/>	住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/>	特に住民意見は反映していない		4		
	小計									11	
費用対効果(B/C)		1.1		評価の合計				B	68		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は地域の生活道路となっており、長野市信州新町と大岡地区を結ぶ重要な路線である。しかしながら当該箇所は幅員狭小でありかつ、線形不良さらには急勾配であるため、地域でもボトルネック箇所として知られており、生活の支障となっている。									
	地域からの要望経緯	信更大岡新町間整備促進期成同盟会及び地区から、毎年要望活動が行われている。									
	事業説明等の経緯	未実施。									
	環境・景観への配慮項目	構造物計画は、必要最小限とするともに景観へ配慮した計画とする。									
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。									
	特記事項	関係機関や地域住民と調整を図りながら計画している。									
地域の合意形成		<input type="checkbox"/>	全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/>	概ね賛成	<input type="checkbox"/>	過半数賛成	<input type="checkbox"/>	動向不明		
部意見	当箇所は、急勾配かつ狭小なため、地域より強い要望がある区間であり、路面凍結によるスリップが多発している。このため、ローカルルールを適用し早期に整備を行いたい。				行政改革課意見		緊急性が認められる。				